



令和 7 年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第 4 号

令和 7 年 7 月 2 日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

- 葉色を維持し収量・品質を確保するため、必要に応じて追肥を行いましょう。
- 6月下旬にいもち病の感染好適条件が出現しましたので、水田をよく観察し、いもち病が発生したら、すぐに防除しましょう。

1 気象の概況

6月は平均気温及び日照時間が、平年を上回って推移しました。梅雨入りは平年より2日遅い6月14日でした。なお6月に入ってから、降水量が平年を下回っています。

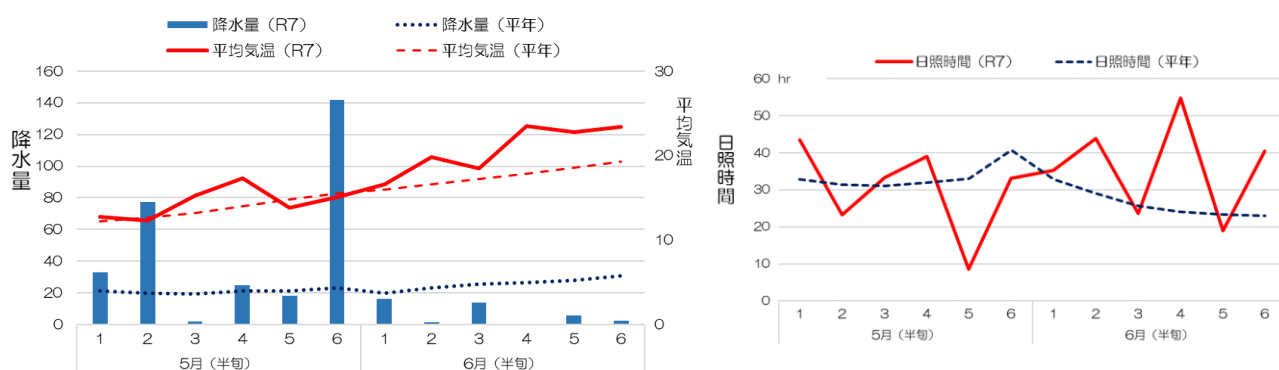


図1 気象経過図（気仙沼アメダス：5月1日～6月30日）

2 水稻生育調査ほの生育概況（7月1日調査）

6月は日照時間が多く、高温で推移したため、生育は順調です。幼穂は確認されませんでした。節は上がってきており、幼穂形成始期（幼穂長1～2mm）の直前と考えられます。

表1 水稻生育調査結果（7月1日調査）

品 種 地区名	年	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	茎数 (本/株)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ	R7	5/14	50.8	675.5	35.0	38.5
気仙沼市本吉町	前年比・差	-6日	107%	111%	107%	103%

※生育調査ほの見直しにより、令和6年度から管内の調査ほは1か所となり、ほ場（担当農家）を変更しています。このため、前年比・差はありません。

3 今後の栽培管理

(1) 水管理

- ・中干しは、幼穂形成始期（幼穂長1～2mm、出穂25～20日前）までに終わらせましょう。
- ・中干し終了直後は走り水程度（表面に浅く水を行き渡らせる）とし、徐々に湛水状態に戻して、その後は間断灌水または飽水管理としましょう。
※飽水管理とは、水田の足跡に水がなくなったら入水し、表土が十分湿ったら落水する方法。従来の間断灌水に比べてより土壌を酸化的に保ち、根の活性が高まる管理方法です。
- ・平均気温で20℃以下の低温が続く時は、できるだけ深水にしましょう。

(2) 追肥

- ・収量や品質を確保するには、葉色を落とさない栽培管理が重要です。品種ごとの標準的な追肥の目安（表2）と生育ステージ（表3）を確認して追肥しましょう。

表2 追肥の窒素施用量の目安

品 種	窒素施用量 (成分量kg/10a)	
	幼穂形成始期 (出穂25日～20日前)	減数分裂期 (出穂15～10日前)
ひとめぼれ	1	1
ササニシキ	—	1.0～1.5

表3 幼穂の長さとお穂までの日数の目安

生育ステージ		出穂前 日数	幼穂長 (mm)	葉耳間長 (cm)
幼穂形成始期		25日	1～2	—
減数分裂期	始期	15日	30～40	-10
	盛期	12日	80～100	±0

注) 葉耳間長：止葉の葉耳とその下の葉の葉耳との間隔によって、出穂前日数を予想することができます。

(3) 病虫害防除

①いもち病

- ・県病虫害防除所のBLASTAM（ブラスタム）によると、管内では6月24日、26日、27日に感染好適条件が出現しています。

※葉いもち感染好適条件の出現状況（BLASTAM（ブラスタム））は、県病虫害防除所ホームページで確認できます。（URL:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>）

- ・水田をこまめに見回り、発病がみられたときは、速やかに茎葉散布剤で防除しましょう。
- ・追肥後は罹病しやすくなるため、発生に注意しましょう。

②紋枯病

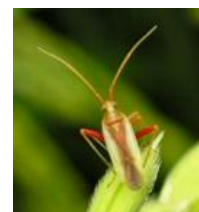
- ・県病虫害防除所の発生予報第5号（7月2日）によると、発生量は「やや多」となっています。
- ・茎葉散布剤による散布適期は、穂ばらみ期から穂揃期です。要防除水準は、穂ばらみ期の発病株率が「ひとめぼれ」で18%となっていますので、要防除水準に達した場合は防除しましょう。

③斑点米カメムシ類

- ・発生予報第5号によると、発生時期は「やや早い」、発生量は「やや多」となっています。
- ・水田内のヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前に斑点米カメムシ類を水田に呼び寄せるので、雑草対策を徹底しましょう。
- ・畦畔の草刈りは、出穂15～10日前に終わらせ、雑草が穂をつけないようにしましょう。



宮城県病虫害
防除所
BLASTAM



県内での最重要種
「アカスジカスミカメ」

(4) 雑草防除

- ・残草があるほ場では、雑草の種類や葉齢、稲の生育ステージを確認し、中・後期剤等を適期に散布しましょう。

4 「金のいぶき」の栽培管理

(1) 調査ほでの生育状況

- ・前回調査では、茎数が平年の約 4 割程度でしたが、今回調査では㎡当たりの茎数は 484 本と、平年の約 8 割程度まで生育が進みました。生育の目安（目標）に達しています。

表 4 生育調査結果（7月1日調査）

品 種 地区名	年	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	茎数 (本/株)	葉色値 (GM)
金のいぶき 気仙沼市本吉町	R7 前年比・差 平年比・差	5/30 -2 日 +11 日	45.0 109% 100%	484.4 77% 79%	29.9 91% 95%	41.0 104% 111%

※令和3年から設置のため、平年値は令和3～6年度の4か年平均の値。

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

- ・「金のいぶき」の葉色は、幼穂形成期頃から「ひとめぼれ」に比べ淡く推移します。
- ・追肥は、葉色維持のため幼穂形成期に窒素成分で 1 kg/10a、登熟向上のため減数分裂期に窒素成分で 1kg/10a を基本とします。
- ・「金のいぶき」はいもち病に弱いので、**予防防除に努める**とともに、発生を確認したらすぐに**茎葉処理剤で防除**しましょう。

5 乾田直播栽培

(1) 調査ほでの生育状況

- ・前回調査では草丈と茎数に生育の遅れが見られましたが、今回調査では生育が進み、前年を上回りました。

表 5 水稻生育調査結果（7月1日現在）

品 種 地区名	年	播種日	苗立率 (%)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市本吉町	R7 前年比・差	3/27 +2 日	67.7% 118%	40.1 103%	435.0 156%	41.1 124%

※調査ほ場は、前年から場所を変更しています。

(2) 今後の栽培管理

前述の「3 今後の栽培管理」を参照。

6 高温に関する早期天候情報（東北地方）

（令和7年6月30日 仙台区気象台発表）

東北地方 7月6日頃からかなりの高温

向こう2週間の気温も、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高くなる見込みです。

熱中症の危険性が高い状態が続きます。屋外での活動等では飲料水や日陰を十分に確保するなど熱中症対策を行い、健康管理に注意してください。また、農作物や家畜等の管理等に注意してください。

○農業作業中の熱中症を予防しましょう。

○宮城県農薬危害防止運動実施中（6／1～8／31）

次回の稲作情報の発行は、令和7年7月11日を予定しています。